

## 第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成24年10月15日(月)

場 所 5年教室

児童数 21名(男子12名・女子9名)

授業者 福井 美雪

- 1 単元名 説明のしかたについて考えよう 理由づけを明確にして書こう  
教材名 天気を予想する グラフや表を引用して書こう

### 2 指導の立場

#### (1) 教材観

本教材は、天気予報の的中率が近年高くなった理由と百パーセント的中させることの難しさを図やグラフ、写真を使って説明した上で、天気の変化を予想し、次の行動を判断するのは自分自身であることを主張した説明文である。説明の仕方の工夫として、グラフや表などを用いて説得力をもたせることのほか、小さな問いがあって答えがあり、そこからまた、次の問いが生まれるということを三回繰り返す構成になっている。そこで、段落相互の関係をとらえながら、事実を説明している部分と筆者の考えを述べている部分を区別して読み進めることで、筆者の主張を読み取ることができる。

また、本教材で学習した説明の仕方の工夫を活用する場として、単元末にグラフや表を使って自分の意見を書く言語活動を位置付ける。

#### (2) 児童の実態

1学期、教材文「見立てる」「生き物は円柱形」で文章構成に着目して要旨をとらえる学習をした。段落ごとの中心文を見付け内容を理解する力は付いてきているが、大事な言葉を選んで要点をまとめる力には個人差がある。また、「豊かな言葉の使い手になるためには」では、グループ討論を行った。仲間の考えとつないでさらに深まった考えを話すことは難しいが、一人一人が自分の考えを話す場を位置付けるためにも、本単元においてもグループで話し合う活動を位置付けたい。

### 3 研究主題に関わって

#### (1) 言語活動や読書活動の充実をめざした単元指導計画の工夫

##### ①学年に応じた付けたい力の具体化と、単元を貫く課題の設定

###### 〔付けたい力の具体化〕

- 文章構成や説明の仕方の工夫をとらえながら、筆者がどのような事実を挙げ理由や根拠にしているか、どのような主張をしているかを読むこと。
- 筆者の主張、論の進め方、表やグラフなどを用いて説明することについての自分の考えをもち発表し合うこと。

###### 〔単元を貫く課題〕

説得力のある分かりやすい文章を書くテクニックを身に付けよう。

##### ②学習の深まりや広がり表現する場の設定

- これまでに学習した説明的な文章と本教材を比較し、同じところや違うところを見付ける活動を位置付けることで、説明の工夫は多様であることを理解できるようにする。
- 次の単元「グラフや表を引用して書こう」を合わせた単元指導計画を作成し、学習した説明の工夫を用いて自分の考えを文章ですること、活用する力を高めたい。作成した意見文を教室の廊下に掲示し、学級や6年生の児童に読んでもらえるようにする。

#### (2) 大事な言葉に着目して読み取り、考えを深め合うための学習過程の工夫

##### ①課題に沿って追究する一人読み

段落の中の中心文から大事な言葉を見つけることや、接続語や文末表現などの説明文特有の表現技法などに着目させることで文章を読む力を育てたい。本時では、問いと答えの段落と内容を確認したり、他の文章の構成と比較することで、違いに気付くようにする。

##### ②考えを伝え合う仲間読み

一人読みをしたことを全体で交流し、確認をする。本時では、問いと答えが繰り返されていることを確認した後に深めの発問をし、筆者がなぜそのような構成にしたのかをグループで交流することで、一人一人が考えを伝える場を位置付ける。

4 単元目標

◎前半部分と後半部分の書かれ方の違いに着目し、筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。 読(1)ウ

◎筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について感想を発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 読(1)オ

◎文章の中で語句と語句の関係や目的に合わせた文章の構成を理解することができる。

伝国(1)イ(オ)(キ)

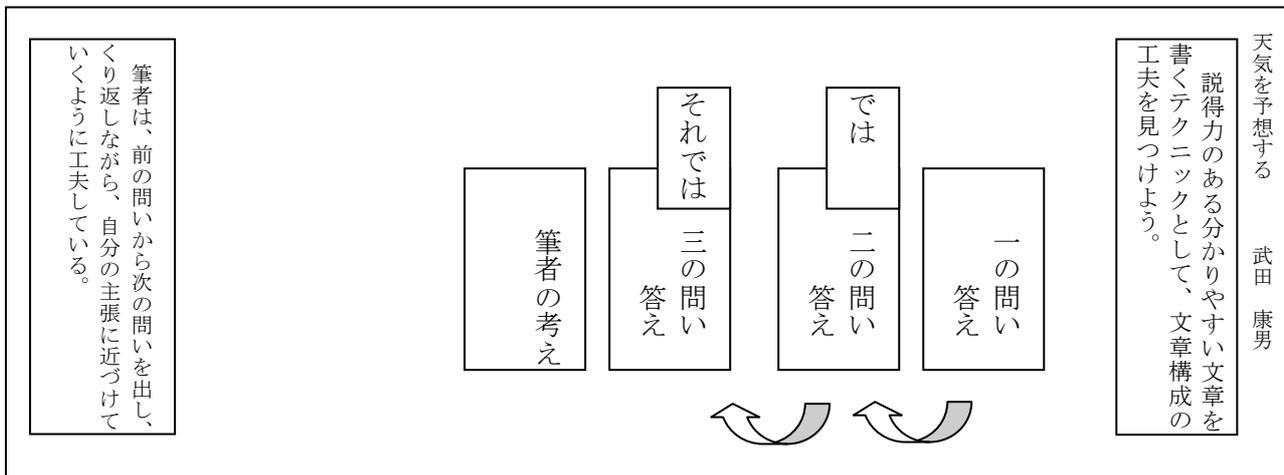
◎目的や意図に応じて収集した事柄を、全体を見通して整理するとともに、引用したり図表やグラフを用いたりするなど、書き方を工夫して、自分の考えが伝わるように書くことができる。書アウエ

5 単元指導計画 (全11時間)

時数	ねらい	学習内容	評価規準
1	単元名、リード文、題名、著者名、感想から学習課題を設定し、学習の見通しをもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元名、リード文、題名、著者名から、単元を貫く課題を知る。</li> <li>学習計画を立てよう。</li> <li>単元の出口で学んだ説明のしかたの技を使って、意見文を書くことを知る。</li> <li>音読をする。</li> <li>内容や説明の仕方について感想を交流する。</li> <li>形式段落を確認する。</li> <li>問いと答えの段落を見つける。</li> <li>学習計画を立てる。</li> </ul>	作品に興味をもち、読むことを楽しもうとしている。(関)
	これまでに学習した説明的な文章の説明の工夫を振り返り、これからの読みの観点をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの文章の説明の工夫を確認し、読みの観点をもとう。</li> <li>提示された教材から一つ選び、説明の工夫を見つける。</li> <li>交流し、これからの読みの観点をもつ。</li> </ul>	これまでに学習した説明的な文章の構成や説明の工夫を読み取っている。(読)
2	一つ目の問いと答えの段落から、文章と資料を関連させて読むことを通して、天気予報的中率が高くなった理由を読み取るとともに、表や写真、数字を使って説明するなどの工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「天気予報的中率が高くなった理由」のまとまりの内容と説明の工夫を読み取ろう。</li> <li>音読をする。</li> <li>一人読みで、中心文から大事な言葉を見つけ、①②③段落を要約したり、説明の工夫を見つけたりする。</li> <li>全体交流をする。</li> <li>説明の工夫をまとめる。</li> </ul>	天気予報的中率が高くなった理由と、表や写真、数字を使って説明するなどの工夫を読み取っている。(読)
	二つ目の問いと答えの段落から、文章と資料を関連させて読むことを通して、天気を予想することの難しい理由を読み取るとともに、グラフや数字を使って説明するなどの工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「天気予報は百パーセントの中するようにはならない」のまとまりの内容と説明の工夫を読み取ろう。</li> <li>音読をする。</li> <li>一人読みで、中心文から大事な言葉を見つけ、④⑤⑥段落を要約したり、説明の工夫を見つけたりする。</li> <li>全体交流をする。</li> <li>説明の工夫をまとめる。</li> </ul>	天気を予想することの難しい理由と、グラフや数字を使って説明するなどの工夫を読み取っている。(読)
	三つ目の問いと答えと、終わりの段落の叙述から突発的・局地的な天気の変化を予想する手立てと筆者の主張を読み取るとともに、写真の使用や文末表現など、説明の仕方の工夫を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「突発的・局地的な天気の変化を予想する手立て」と「筆者の主張」のまとまりの内容と説明の工夫を読み取ろう。</li> <li>音読をする。</li> <li>一人読みで、中心文から大事な言葉を見つけ、⑦⑧⑨段落を要約したり、説明の工夫を見つけたりする。</li> <li>全体交流をする。</li> <li>⑩段落を読み、筆者の主張を読み取る。</li> <li>説明の工夫をまとめる。</li> </ul>	突発的・局地的な天気の変化を予想する手立てと筆者の主張、写真の使用や文末表現など、説明の仕方の工夫を読み取っている。(読)

6 (本時)	三つの問いと答えの関連を考えることを通して、答えから次の問いを生み出し、読み手の思考の流れに沿いながら徐々に論の道筋を自分の主張に近づけていることに気付き、文章全体の構成をとらえることができる。	<p>説得力のある分かりやすい文章を書くテクニクとして、文章構成の工夫を見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三つの問いと答えの内容と筆者の主張を確認する。</li> <li>三つの問いと答えが筆者の主張とどのように関連しているか考え、交流する。</li> <li>文章構成図をつくる。</li> <li>文章構成の工夫をまとめる。</li> </ul>	問いと答えが繰り返されている構成に気付き、その筆者の意図や工夫について理解している。(伝国)
	筆者の論の進め方や説明の仕方についてまとめ、自分の考えを書くことができる。	<p>説得力のある分かりやすい文章を書くテクニクとして、説明の工夫をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今までの学習で見付けた説明の工夫をまとめる。(資料・数字・問いと答え・中心文・言葉など)</li> <li>感想を書く。</li> </ul>	筆者の論の進め方や説明の仕方について自分の考えを深めている。(伝国)
	学習の見通しをもつとともに、「くらしやすさ」「くらしにくさ」について、自分の考えを整理することができる。	<p>「くらしやすさ」「くらしにくさ」について自分の考えを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮の主張を決める。</li> <li>意見文を書く手順を知る。</li> </ul>	学習のみとおしをもち、「くらしやすさ」「くらしにくさ」について、自分の考えを整理しようとしている。(関)
3	整理した自分の考えを述べるために、どのように、どのような資料を引用すればよいかを理解し、自分の考えを裏付ける統計資料を探ることができる。	<p>自分の主張を裏付けるための資料を探そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の意見文の例を読む。</li> <li>グラフや表を引用するときの留意点を確認する。</li> <li>理由を裏付ける資料としてどのようなグラフや表を探す必要があるかを確認する。</li> <li>資料を探す。</li> </ul>	社会的なことや統計資料から自分の主張を裏付けるのに必要な材料を見つけている。(書)
	資料を効果的に使いながら、文章構成や説明の仕方を工夫して意見を述べる文章を書くことができる。	<p>資料を効果的に使い、工夫して意見文を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ資料を読み取る。</li> <li>「初め・中・終わり」の構成で、資料を引用・解説しながら意見文を書く。</li> </ul>	資料の引用の仕方、文章構成、説明の仕方を工夫して意見文を書いている。(書)
	書いた意見文を友達と読み合い、考えや文章の書き方、用いた資料について意見や感想を交流し、意見に説得力をもたせるための資料の使い方を理解することができる。	<p>書いた意見文を読み合い、友達の影響や文章の書き方、表やグラフの使い方について意見や感想を交流しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読み合うときの観点を考える。</li> <li>文章を読み合い、意見や感想を交流する。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	他者の文章を読み、観点に沿って意見を言おうとしている。(関)

6 板書計画



7 本時のねらい

三つの問いと答えの関連を考慮を通して、答えから次の問いを生み出し、読み手の思考の流れに沿いながら徐々に論の道筋を自分の主張に近づけていることに気付き、文章全体の構成をとらえることができる。

8 本時の展開 ( 6 / 11 )

☆ (研究内容に関わる指導・援助)

段階	学習活動	研究内容に関わる指導・援助, 評価規準
つかむ	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者は「科学技術が進歩し、国際的な協力が実現したことによって、天気予報の的中率が高くなったこと」「突発的・局地的な天気の変化のため、百パーセント的中することはかなり難しいこと」「突発的・局地的な天気の変化を予想する手立てとして、実際に自分で空を見たり、風を感じたりすることや、天気に関することわざを利用すること」を具体的な事例として挙げている。</li> <li>・筆者は、科学的な天気予報を活用しながら、自分でも天気に関する知識をもち、自身で空を見、風を感じることの大切さを伝えている。</li> </ul> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>説得力のある分かりやすい文章を書くテクニックとして、文章構成の工夫を見つけよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習の足跡の掲示やノートを見て想起できるようにし、本時へつなぐことができるようにする。</li> <li>・本時は、部分の読み取りではなく、文章全体の構成を考えていくことを確認する。</li> </ul>
深める	<p>3 文章構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い・答え」の繰り返しが3回あること、「終わり」の中に、筆者の主張が書いてあることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深めの発問】 三つの具体的事例（意味段落）を入れ替えについて考えてみよう。</p> </div> <p>(1) 「一人読み」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの意味段落を入れ替えてはいけない。理由は、・・・。</li> </ul> <p>理由①「では」「それでは」という接続語からも、答えの中から次の問いを出していることが分かるから。</p> <p>②内容を読んでいくと、答えの中から次の問いを出していることが分かるから。</p> <p>③筆者は自分で空を見たり風を感じたりすることの大切さを伝えたい。初めに的中率の高さを説明して、でも百パーセントにはならないからこうするしかない自分の主張に近づけている。</p> <p>(2) 「仲間読み」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ交流し、自分の考えの根拠をはっきり伝えることができるようにする。</li> <li>○全体交流をし、筆者の文章構成の意図を理解する。</li> <li>・筆者は、自分の主張に近づくように三つの問いと答えを順番に書いている。</li> </ul>	<p>☆これまで学習した説明的な文章の構成と比べることで、文章構成の特徴を捉えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三つの具体的事例を入れ替えたもの（三つ目の問いを初めにする）を提示し比べることで、説明する順序を考えた文章構成になっていることに気付くようにする。</li> <li>☆筆者の主張（一番伝えたいこと）や接続詞「では」「それでは」に着目させることで、筆者の文章構成の工夫を見つげられるようにする。</li> <li>・司会者は全員が意見を言うように進行することを指示する。</li> <li>☆自分の考えの根拠を話している姿を認める。</li> <li>☆仲間の意見を取り入れて考えを書き加えている姿を認める。</li> </ul>
まとめる	<p>4 文章構成図を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①（話題提示・問）②③（答）→④（問）⑤⑥（答）→⑦（問）⑧⑨（答）→⑩（筆者の主張）</li> </ul> <p>5 本時のまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>筆者は、前の問いから次の問いを出し、問いと答えを繰り返しながら、自分の主張に近づけていくように工夫している。</p> </div> <p>6 学習を振り返る。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>問いと答えが繰り返されている構成に気付き、その筆者の意図や工夫について理解している。 (伝国)</p> </div>